

「課題名：ヒト IgA 腎症患者組織におけるミネラルコルチコイド受容体の発現に関する検討」について

○ 研究の意義・目的

腎疾患の進展に高血圧症が関与していることが知られています。急性腎障害後に食塩感受性が亢進し、食塩負荷にて高血圧を来すことが報告されていますが、その機序はまだ明らかになってい

まありません。今回、IgA 腎症と診断されたヒト腎生検組織を用いて、ミネラルコルチコイド受容体の発現を検討し、血圧や腎障害との関連性について調べます。腎虚血によってミネラルコルチコイド受容体の発現が亢進し、腎疾患の進展に関与することを検討するため、この研究を計画しました。なお、本研究は本学の疫学研究倫理審査委員会および理事（医療担当）の承認、許可を得て施行しております。

○ 研究対象者

2016年4月1日から2019年3月31日までに、広島大学病院広島大学病院腎臓内科に入院し、腎生検にてIgA 腎症と診断された方を対象とします。

